

ほうきさん 3月

棕本673 存仁寺



落合登代子さん作

「念多念文意」
本願をききて 疑うこころなきを 聞というなり
— 独生独死 —

人は一生の内にどれほどの方と出会い、別れていくのでしょうか。何らかの接点を持つ人が3万人、そのうち近い関係（同じ学校、職場、近所など）が3000人、友人と呼べるのが30人、親友と呼べるのが3人というそうです。どなたが端を発したのかは存じないです、おおよそ80歳までの人生として算出されたようです。それでは、その出会った人と一緒にいた時間はどれくらいあるのでしょうか。幼い頃に出会い、生涯の友となる方もあるでしょう、長年連れ添う伴侶もあるでしょう。親子の縁ならば、お腹の中にいるときからの出会いです。一人ひとりの人生は様々であり、推し量れたものではないでしょう、また、数字で表せないものでしょう。「まことのことば」の中に、「人は、この世の愛欲のきずなにつながれて生きているが、つきつめてみると、独り生まれ、独り死に、独り来て、独りゆくのである。すなはち、人それぞれの行いによって苦楽の境界にすむ身になるのであって、すべては自分自身がその責任を負わなければならない。だれも、これに代わることはできぬのである。」（仏説無量寿經 浄土真宗 聖典—勤行集—）一七〇頁）と、いのちの存在が厳しく示されています。独りのいのちをかかえたもの同士が、こうして不思議と出会い共に過ごす時間があります。喜怒哀樂とともにしながらも数々の想い出を残していくことが出来ることを尊びつつ、大にしてまいりたいものです。そして、「決してあなたを独りぼっちにはしません」と常に喚んでくださる阿弥陀さまのおこころをしっかりと受けとめ聞いていきたいことです。念佛の教えは、別れなくてはならない悲しみや寂しさだけでなく、またあえることの境界を今よりいただくことのできる尊い味わいがあります。

（住）

「本願をききて 疑うこころなきを 聞というなり」

三月の法語は親鸞聖人が、法然門下の先輩である隆寛律師の『一念多念分別事』を註釈された『一念多念文意』からの一文です。専修念佛は、称名念佛の数、一念・多念という念佛の数に偏執しない念佛往生義であることを明らかにされた書物です。その念佛往生の誓願である第十八願成就文を解釈された一文です。「本願をききて疑うこころなきを「聞」といふなり。（如來の本願を聞いて、疑う心がないのを「聞」というのである。）と、阿弥陀さまの根本の誓願の救いを疑いなく、一心なく聞く、「聞」の大切さを示された一文です。浄土真宗では聞法・聴聞を大切にしますが、一般に仏教においては、發心・修行ということを大切にします。自らさとりを求めようという真心を發し、造作しさとりに向かう修行をしていくことを意味します。しかし私たち凡夫の現実は、臨終の瞬間まで貪欲・瞋恚・愚痴の三毒の煩惱にまみれた状態ですから、無明煩惱の毒を滅するはたらきをもつ薬が必要となります。その救いの法薬は、阿弥陀さまが、苦惱の衆生をいのちをかけて救わぬと、兆載永劫という長い時間、絶えず真実清淨なる心でご修業され、説きつくすこともできない智慧や慈悲の徳を成就された結果仕上りました。それは、功德をおさめた如來の名号、本願が衆生のものにまでなってくださった、本願成就の名号です。「南無阿弥陀仏」として衆生に施し与えられ、諸仏がたの讚嘆称名される音声を通じて、十方世界に届けられたのです。諸仏に讃えられ届けられた名号は「聞く」というかたちで服薬せよいわれます。服薬した衆生においては「信樂」の受持という眞実信心一つが、如來の救いが私たち衆生のところではたらく要となります。二〇一八年法語カレンダー「月々のことば」より

3月の行事

- 1日(木) 6時30分 おあさじ
13時30分 コーラス
- 4日(日) 15時 還暦のつどい
- 10日(土) 10時 日曜学校・子ども会
19時 仏教壯年会例会
- 15日(木) 13時30分 無量寿会追悼法要
- 16日(金) 6時30分 おあさじ
- 17日(土) 17時～19時 お寺ヨガ
- 18日(日) 鈴鹿組二十五日講法要 西正寺様
春彼岸 18日～21日
- 31日(土) 鈴鹿組仏教婦人会総会・研修会
9時30分 存仁寺にて



4月の行事

- 1日(日) 6時30分 おあさじ
鈴鹿組はなまつり 常信寺様 9時30分
- 5日(木) 10時 コーラス
13時30分 無量寿会花まつり・総会
- 16日(月) 6時30分 おあさじ
- 28日(土) 春季永代経法要
- 29日(日) 春季永代経法要
17時より世話方会



宗派・教区・鈴鹿組関連



- 7日(水)三重同宗連後期研修会
大阪市フィールドワークとリバティ大阪
- 10日(土) 鈴鹿組聞信会総会・研修会
- 18日(日) 2時 鈴鹿組二十五日講法要 西正寺様
法話 三重組延長寺 寺尾俊洋さん
- 19日(月)教区「御同朋をめざす運動」門信徒研修会
- 25日(日) 鈴鹿組門徒総代会総会 芸濃庁舎3時半
- 27日(火) 教区少年連盟表彰式
- 31日(土) 鈴鹿組仏教婦人会総会・研修会
9時30分～ 存仁寺にて
- 鈴鹿組仏教壯年会総会 9時～真福寺
鈴鹿組はなまつり準備 14時 常信寺



3月17日(土)10時半, 13時半 津市西丸の内 正覚寺様
『余のことならわず』大谷派 松井憲一師

津市丸の内正覚寺様永代経法要

- 3月24日(土) 午後1時半『無量寿経作法』
午後6時半『仏説觀無量寿経』
- 3月25日(日) 午後1時半『仏説阿弥陀経』
法題「雲霧之下明無闇」
講師 高田派 潮音寺ご住職 村上英俊師



3月26日(月)13時30分より智積西勝寺様にて、ちひろさんトーク、コンサートがあります。「歎異抄」や地元山口県の金子みすゞさんの詩を作曲、透き通るような綺麗な声で歌われます。

春季永代経法要

- 4月28日(土) 午後1時30分 おつとめ
4月29日(日) 午後1時30分 おつとめ
法話 一志 西向寺 楠原純悠師

亡き方を偲ぶ私に、すでに仏さまとなった亡き方が、いつでもこの私に願いをかけて下さってあります。仏の願いに遇わせていただきましょう

4月29日(日) 午後5時より世話方会
を持たせていただきますのでご予定下さい

3月11日 14時46分 東日本大震災から7年
哀悼の鐘 を撞きましょう

総代・世話方会

2016年より世話方の制度を改め2年経ちました。
3月31日を以て任期が終わります。(一部来年)
つきましては、新旧の世話方さんの役の引継ぎをいたしたく思います。ご多用とは存じますが、何卒ご出席の程宜しくお願ひ申し上げます。

3月18日(日) 午後7時より存仁寺庫裡にて
上組・中組・南組・新町新道組
午後7時30分 4部公民館にて
下組

総代・世話方会 関伽屋の手前に合同墓の建設中です。また、駐車場東の建物の解体・整備工事が今月よりはじまります。参拝皆様にはご迷惑をおかけいたします。

